

2018年4月号

4月15日(木)発行

釧路湿原国立公園

温根内ビジターセンター

# 月刊 温根内通信 No. 259



## 動き出すいきものたち…

待ちわびたように生き物たちがうごめき始めました。野鳥たちは縄張り争い、カエルは産卵と、せわしなくなってきました。そしてまだまだ一面の緑とはいきませんが、徐々に彩りが増してきた温根内。

夏鳥の確認と花の開花。我々ビジターセンター職員にとっても、記録に忙しくなる日がこれからやってきます。

☆☆☆温根内ビジターセンター 探勝木道周辺の自然情報☆☆☆



～温根内探勝木道周辺の自然～



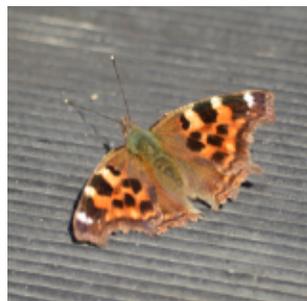
【バイケイソウ】  
シュロソウ科 梅蕙草  
鶴居軌道沿いの湧水地付近で見られます。芽吹き始めのみずみずしい葉が目を引きますが、有毒なので注意が必要です。



【カラフトノダイオウ】  
タデ科 樺太大蕨  
水面から楔型の赤い若葉がのそいています。夏には大きな葉を広げ、目立たない花を咲かせます。絶滅危惧Ⅱ類(VU)。



【ハンノキ】  
カバノキ科 榛の木  
枝先から垂れ下がった雄花が開花して花粉を出しています。雄花の根元には小さな雌花が見え、これが受粉して実をつけます。



【エルタテハ】  
タテハチョウ科  
本種の仲間は成虫のまま越冬し一斉に姿を現しますが、こんな数がどこで越冬を越していたのだらうかと、いつも不思議に思います。



【キタミフクジュソウ】  
キンポウゲ科 北見福寿草  
春一番に日当たりのよい限られた場所に咲きます。花は蜜を出さず、日光を集めてその温かさと花粉で虫をおびき寄せます。



【エゾアカガエル】  
アカガエル科 蝦夷赤蛙  
冬眠から目覚め、「キャラララ…」という声が今年も湿原に響き渡ります。この繁殖期以外に鳴くことはほとんどありません。

○表紙の写真 上：ジュウサンホシテントウ 中右：エゾアカガエルと卵塊 中左：ヤマゲラとオオアカゲラ 下：バイケイソウ

## ～温根内探勝木道周辺の野鳥～

季節がうつろい、釧路湿原には続々と夏鳥たちが繁殖のためにやってきています。これから温根内周辺にも鳥たちの囀りが響き渡り、いよいよ絶好のバードウォッチングの季節を迎えます。ビジターセンターでは双眼鏡を無料で貸出しておりますので、お気軽に職員までお申し付けください。



【ハクセキレイ】 夏鳥  
セキレイ科 白鶺鴒  
コンクリートの床をチョロチョロ歩くイメージがありますが、VC周辺にも現れ、やはり人工の床がお好きなようです。これも夏鳥。



【ヤマゲラ】 留鳥  
キツツキ科 山啄木鳥  
「ピーー、ピョ、ピョ…」という寂しげな鳴き声が特徴です。同じキツツキ科のオオアカゲラと縄張り争いをしているようでした。



【オオジュリン】 夏鳥  
ホオジロ科 大寿林  
今年もオスだけが先陣を切ってやって来ました。写真のように、来たばかりの時は頭の羽毛がまだ完全に黒くなっていません。



【キバシリ】 留鳥  
キバシリ科 木走  
体が小さい上に、樹皮の色とカモフラージュされて見つけにくい種です。暖かくなると優しい囀りが聞こえてくるときがあります。

○温根内探勝木道周辺で観察された鳥(3月15日～4月14日) ※和名は日本鳥類目録第7版の順

■ヒシクイ ■オオハクチョウ ■ヒドリガモ ■マガモ ■キジバト (4/12 初認) ■アオサギ ■タンチョウ ■トビ ■オジロワシ ■オオワシ ■ノスリ ■コゲラ ■オオアカゲラ ■アカゲラ ■ヤマゲラ ■ハヤブサ ■カケス ■ハシボソガラス ■ハシブトガラス ■クイタダキ ■ハシブトガラ ■ヒガラ ■シジュウカラ ■ヒバリ (3/25 初認) ■ヒヨドリ ■エナガ ■ゴジュウカラ ■キバシリ ■ミソサザイ ■アカハラ (4/14 初認) ■ツグミ ■ノビタキ (4/12 初認) ■ハクセキレイ (4/2 初認) ■セグロセキレイ ■アトリ ■カワラヒワ (4/12 初認) ■マヒワ ■ベニマシコ (3/30 初認) ■ウソ ■アオジ (4/12 初認) ■オオジュリン (3/27 初認)

※旬の自然情報についてはお気軽にスタッフまでお尋ねください。

※温根内木道周辺の植物を折ったり持ち帰ったりしないようお願いいたします。また、木道から降りて写真を撮ることはおやめください。皆様が気持ちよく散策・観察できるようご理解とご協力をお願いいたします。

### ☆☆☆☆ トピック センサーカメラを仕掛けてみると・・・ ☆☆☆☆

ある日、冬の食糧がうまく取れなかったのか、ビジターセンター裏の林に子鹿の死体がありました。発見した時は死後間もない様子でした。そこでここに、動くものに反応して撮影するセンサーカメラを仕掛けておいたところ、多くの動物が写っていました。まず、夜になって写っていたのはキタキツネでした。しかし、なぜかそのキタキツネは死体にあまり手をつけず、早々に去っていきます。その後夜が明けてカラス、そして大型のタカ類であるオオワシ、オジロワシが続々と集まります。オオワシ・オジロワシは、いかにも「これは俺の獲物だ！」と言わんばかりに翼を大きく広げて死体に覆いかぶさり、他を威嚇する姿が印象的でした。中には小競り合いのようなシーンも写り込んでいました。さらにその鳥たちが去った隙に、キタキツネが再びやって来ました。普段はなかなか見られない、野生動物たちの生々しい姿や力関係を垣間見ることができました。死んでしまったエゾシカは可哀そうではありますが、それは他の生き物たちの糧となり、残った骨もやがて土へと還っていきます。(藤原伸也)



死体を最初に見つけたキタキツネ



翼を広げて主張するオオワシ



2頭でやってきたキタキツネ

☆☆☆☆ **ビジターセンターの中に鳥が隠れています!** ☆☆☆☆

当ビジターセンター館内のあちこちに、**ほぼ実寸大の鳥のぬいぐるみや模型が隠れています**。テラス側の窓際にある双眼鏡を使って、ぜひすべての種類を見つけてください!



双眼鏡の扱い方もこれで習得  
できますのでバードウォッチ  
ング初心者さんも出かける前  
の準備運動におすすめです!



**ボクたちを見つけてみてね!**

☆☆☆☆ **アメリカミンクに餌を与えないで!** ☆☆☆☆

雪が解けて暖くなり始め、繁殖の時期を迎えたアメリカミンクが、木道の各所で頻りに目撃されるようになっていきます。アメリカミンクは「**特定外来生物**」という、在来の生物を補食したり生態系に害を及ぼす恐れがある生物として法律により指定されている種です。木道上に現れても、**決して餌を与えたり触れたりしようとしなくてください。**



木道上で餌を探すアメリカミンク

☆☆☆☆ イベントのご案内 (5月) 事前の申し込みが必要です ☆☆☆☆

○温根内ビジターセンター ⇒お申し込み ☎ 0154-65-2323

♪春の花を見に行こう

〔日時〕 5月6日(日) 10:00~12:00 〔定員〕 15名(小学生は保護者同伴)  
〔参加費〕 無料 〔場所〕 温根内ビジターセンター

釧路湿原ではようやく花が咲き始めました。よく探さないと見過ごしてしまう早春の花々を探してじっくりと観察し、釧路湿原の遅い春を実感します。



♪早朝バードウォッチング

〔日時〕 5月20日(日) 8:00~10:00 〔定員〕 15名(小学生は保護者同伴)  
〔参加費〕 無料 〔場所〕 温根内ビジターセンター駐車場

釧路湿原は繁殖期を迎えた野鳥のさえずりで大賑わいです。野鳥の活動が活発な早朝の時間帯に観察会を行います。バードウォッチング初心者さんも歓迎します!

※双眼鏡の無料レンタルを行っています。必要な方は申込時にお知らせください。



○塘路湖エコミュージアムセンター(あるこっと) ⇒お申し込み ☎ 015-487-3003

♪春の湿原 野鳥観察会

〔日時〕 5月4日(金・祝) 10:00~12:00 〔定員〕 15名(小学生は保護者同伴)  
〔参加費〕 無料 〔集合場所〕 憩の家かや沼駐車場

~新年度もお待ちしています~

新しいビジターセンターになり1年が経ちました。今年度もこの2人体制で皆さんをお待ちしています!



本原



藤原

月刊 温根内通信 No. 259

発行: 釧路湿原国立公園 温根内ビジターセンター

〒085-1145 北海道阿寒郡鶴居村字温根内

Tel: 0154-65-2323 Fax: 0154-65-2185

E-mail: ovc@hokkai.or.jp

ホームページ: <http://www.kushiro-shitsugen-np.jp/>

Facebook: [温根内ビジターセンター フェイスブック](#)

開館時間: 9:00~17:00 (11月~3月は16:00まで)

休館日: 毎週火曜日(12/29~1/3は休館) 入館無料